

# 令和4年度「構成(1年)」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	美術科	美術	構成	2	必修
<b>教科書</b>	つくる・見る・学ぶ 美術のきほん—美術資料 (京都市立芸術大学美術教育研究会、日本文教出版編集部)				
<b>副教材</b>					

学習の目的	
1	構成の基礎について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付ける。
2	表現及び鑑賞に関する創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
3	ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。

学		評価の割合
<b>I</b> 【習得】の段階 知識・技能	構成・デザインの特徴を理解し、技法の違いや効果、手順等を説明できる。	4
<b>C</b> 【活用】の段階 思考・判断・表現	構成の知識や技能を総合的に働かせて独創的に思考、判断し、表現できる。	4
<b>E</b> 学びに向かう人間性等	構成・デザインが果たす社会的役割や関係性を理解し、新たな意味や価値を創造することができる。	2

つけた たい 力	みつめる力	感じ取ったことや考えたことから、主題を生成し表現の構想を練る力
	きわめる力	発想や構想を基に、材料や用具を生かし、創造的に表す力
	つなげる力	造形の要素の働きを理解し、イメージや作風、様式などで捉える力

評価方法	I	C	E
◇ 主に作品の（途中段階、完成段階、）で知識及び美術の評価を行います。	○		
◇ エスキースとワークシートを基に主題の生成や構想、表現に向けた判断力等を評価します。	○	○	
◇ 進捗状況、グループワークの様子、自己評価等をもとにデザインへの関心・意欲・態度等を評価します。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等
◇ 実習が中心の授業となります。指示された画材は各自で準備してください。
◇ 授業以外にも制作時間を十分にとって、完成度を高めてください。
◇ 内容に応じて、他の専門科目と展開授業を行います。
◇ 制作終了時に講評会を行います。講評の際はメモを用意してください。
◇ エスキースや資料集め、動画視聴等の予習が必要な場合があります。指示に従って事前準備をしてください。

## 年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう
第1学期	4	用具の使い方・平面構成	デザイン用具の正しい使い方や平塗り等の基本的な塗り方を学ぶ。平面構成を通して形や色をバランス良く配置するための基礎的な考え方を理解する。			○	○	
	5	ポスタリゼーション	写真等の画像をデザイン化するポスタリゼーションの考え方や色彩の基礎(色の三要素、三原色、トーン等)を学ぶ。ポスター等の例を挙げ、レタリングについても理解を深める。			○	○	
	6							
	7	鉛筆デッサン	鉛筆(4H～6B)の基本的な使い方、明暗や形の捉え方を理解する。			○		
第2学期	9	ポスター制作	主題を視覚的に伝達する方法を考える。主催者の意図を把握し、自分自身の表現の特性を生かす。					
	10				魅力的なデザインとはなんだろう	○	○	○
	11	紙立体	立体造形の楽しみを知る。立体の特徴を理解し、構成、構築を考える。					
	12				素材の特性をいかしたデザインとはなんだろう	○	○	○
第3学期	1	ポスター制作	主題を視覚的に伝達する方法を考える。主催者の意図を把握し、自分自身の表現の特性を生かす。					
	2				魅力的なデザインとはなんだろう	○	○	○
	3							

※行事等で変更になる場合があります。